

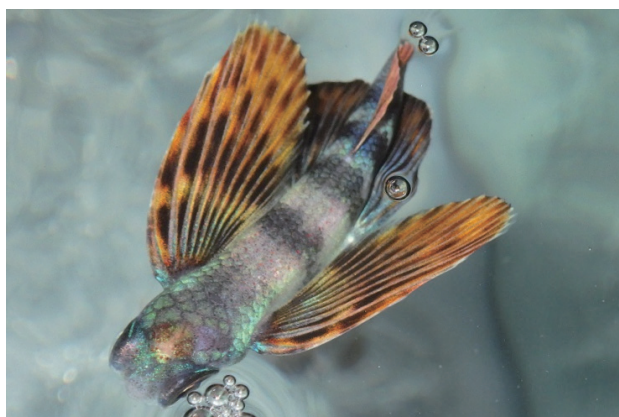
本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

## 《10日間だけの特別展示》「夏の魚・トビウオ」の赤ちゃんを展示します

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、館内1階「すがたにふれる」ゾーンにて、トビウオの赤ちゃん(全長約3cm、5匹)を、2018年8月10日(金)から19日(日)までの10日間限定で展示します。ユニークで優雅なその姿を、横からも真上からもご覧いただけます。



トビウオは、胸ビレを翼のように大きく広げ、水面上をグライダーのように飛ぶことで知られており、初夏から秋にかけて日本の沿岸にやってくることから、夏を代表する魚とも言われています。

またトビウオの赤ちゃんは、海が荒れた後に岸壁近くの水面で、流れ藻の中に隠れて泳いでいる様子が見られます。今回展示するのは、高知県土佐清水市の以布利港内にある「大阪・海遊館 海洋生物研究所以布利センター」前の岸壁で、7月31日に採集されたものです。全長は約3cmで、トビウオの特徴である胸ビレがすでに大きく発達しており、横から見た姿は飛行機のように、上から見るとまるで蝶が羽ばたいているようです。

ニフレルでは、「夏の魚・トビウオ」の赤ちゃんを、展示室内に設置され横からも真上からも観察できる水槽で展示し、その優雅な姿をご覧いただくとともに、“生きているミュージアム”であるニフレルならではの“生きもので感じる季節感”を味わっていただきたいと考えております。

トビウオの赤ちゃんは、採集できる季節や条件が限られており、さらに体が傷つきやすく神経質なことから、長期間の飼育展示が難しい魚で、その姿を見る機会も多くありません。



「すがたにふれる」の水槽。底から照明を当てることで、生きものの姿が浮かび上がるような演出をしています。

## 【トビウオの赤ちゃん展示概要】

《展示期間》2018年8月10日(金)～19日(日) 10日間限定

《展示場所》館内1階「すがたにふれる」ゾーン

《展示数》5匹(予定)

※生きものの状況により予告なく展示を変更または中止をする場合があります。



## 《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10：00～20：00 最終入館は19：00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、スーベニアショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生1,900円、小・中学生1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY 全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

- ※ 公式ホームページ
- ※ ツイッター
- ※ Facebook
- ※ インスタグラム

- <http://www.nifrel.jp>
- [http://twitter.com/nifrel\\_official](http://twitter.com/nifrel_official)
- <http://www.facebook.com/nifrel.jp>
- [http://www.instagram.com/NIFREL\\_OFFICIAL](http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL)

